

## 「子宮頸がん検診」を受けていますか？

- 子宮頸がんは30代から50代の方が多くかかっています。
- 子宮頸がんの多くは**HPV**(ヒトパピローマウイルス)が原因。
- 性交経験のある人の多くが**生涯に一度はHPVに感染**します。HPVの感染は無症状で1～2年で自然になくなりますが、一部は持続して、がんのリスクを上げる場合があります。

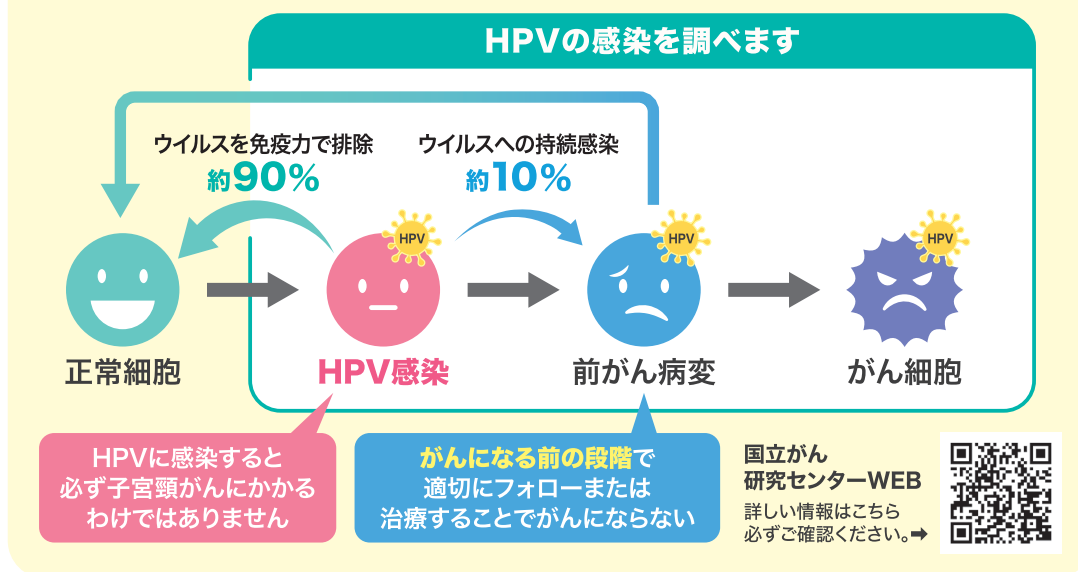


**NEW** 横浜市では子宮頸がん検診に「**HPV検査**」を導入します！

### HPV検査とは？

子宮頸部の細胞が、がんの原因ウイルスHPVへ感染しているかを調べます。

#### HPV感染と子宮頸がんの発生の流れ



HPV検査が陰性(-)の場合は「**5年に1度**」の検診です

**HPV陰性(-)** → 次の検診は**5年後**です。

**HPV陽性(+)** → 細胞の状態を調べる検査を行います。(この検査のための再度の受診は不要) 検査結果に応じて、**1年後の再検査**または**精密検査**を受けます。

# 子宮頸がん検診(HPV検査)ってどんな検査?

## 検査方法

内診により医師が細胞を採取します

※月経(生理)中は避けて検査を受けてください。

## 費用

**2,000円**

次の方は費用が免除になります。必要な手続きについてはお問い合わせください。

- 生活保護世帯、中国残留邦人等支援給付制度が適用される方
- 令和5年度市民税県民税が非課税世帯・均等割のみ課税世帯の方



## 受診方法

### STEP 1 受診する医療機関を選ぶ

※医療機関によっては予約が必要な場合があります。WEBページ等をご確認ください。



横浜市  
子宮頸がん検診  
実施医療機関  
はこちら

### STEP 2 検診受診時に以下の2つを持って 医療機関へ行く

- ① 同封のご案内(受診券シール)
- ② 本人確認書類(マイナ保険証等)

➡ ①②を忘れると受診できません!  
届いた封筒の中に①が入っています。

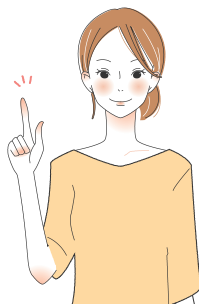
## 対象者

横浜市内在住の**30～60歳の女性**

20～29歳、61歳以上の方の子宮頸がん検診(細胞診検査)は、  
今までと変わりません。

### 子宮頸がん検診の対象外となる方

- 子宮頸部を有さない方  
子宮頸部の疾患で治療中・経過観察中の方も対象外となることがあります。  
検診の受診可否は、医師に相談してください。
- 性交渉の経験が無い方  
子宮頸がんにかかるリスクは低いですが、希望があれば受診可能です。



心配な症状がある時は、  
がん検診でなく婦人科を受診しましょう